

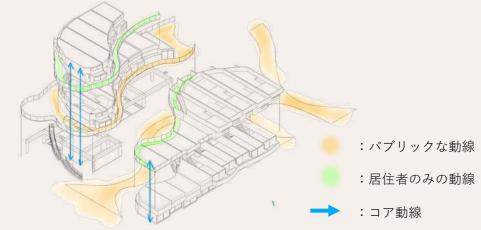
前回のこども園の設計課題のテーマである「径」を延長させる。 こども園から延長させた「径」は公園へ、川へと抜け、つながりを生み出す。



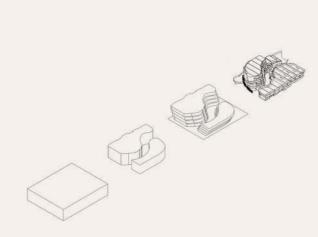
05 まちといえの共存

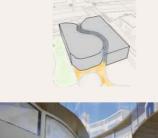
「まち」が「いえ」とつながるにはその境界が重要であると考える。 そこで私は今回、1住戸1テナントという形式を取り入れ、 (北側は各部屋に学生の展示室)

まちといえ、そしてひととの多様な関わり方を演出した。



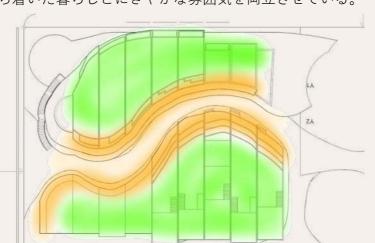
径を通しできた敷地中央の閉塞的な空間。 建物をずらして積み重ねることで、開放感、囲まれ感が生まれ、 径が「渓谷」へと変化した。



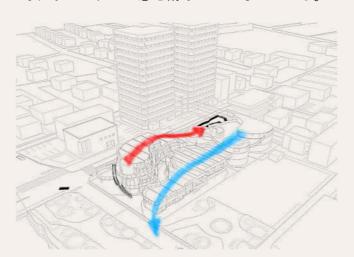




しかしプライベートとパブリックの境界というのも重要な点だ。 テナントと住戸はしっかりと壁で隔てられている。 渓谷を中心としたパブリック・プライベートのグラデーションが 落ち着いた暮らしとにぎやかな雰囲気を両立させている。



隣地にはこども園、そして大きな川がある。 それらのスケール感を滑らかにつないでいる。



06 住民・住戸想定

<u>住民想定</u>

# <u>住戸詳細(テナント)</u>

○住戸A:ファミリー層向け

4層1住戸

○住戸B:学生ルームシェア

2層1住戸

○住戸C①:高齢者様向け

1層1住戸

○住戸C②: 学生マンション

2層1住戸

○セレクトショップ

○ネイルサロン

○書店(古本)

○レンタルスペース

○ミニ飲食店

〇ミニ美容室 etc..

#### <u>まちの施設</u>

○こども園展示室

○こども×理系学生ブース

渓谷によって生まれた東西軸の住戸。

そのデメリットを解消するため、南側はGLから4層、

北側はデッキから4層とすることで均一な日照計画を行った。

#### **SOHO**

○各階にSOHOを設置。 (ファミリー層)

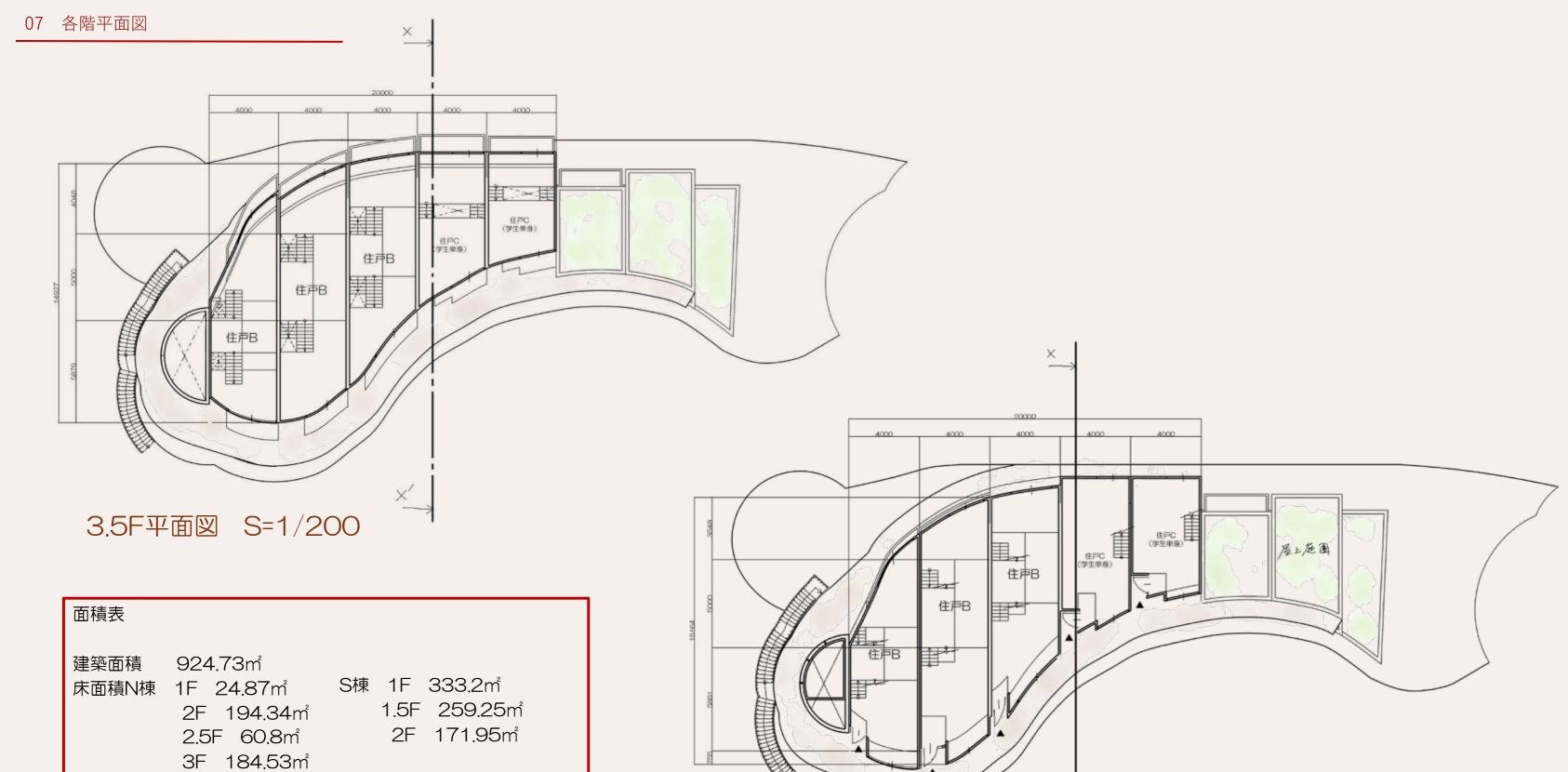


4F 62.32m<sup>2</sup>

延べ面積 1291.26㎡

# 集合住宅「」

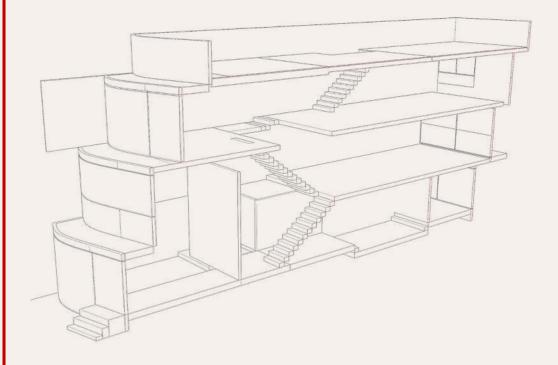




3F平面図 S=1/200

07 各住戸のイメージ

-1 ファミリー層 (住戸A)



# 住戸プラン

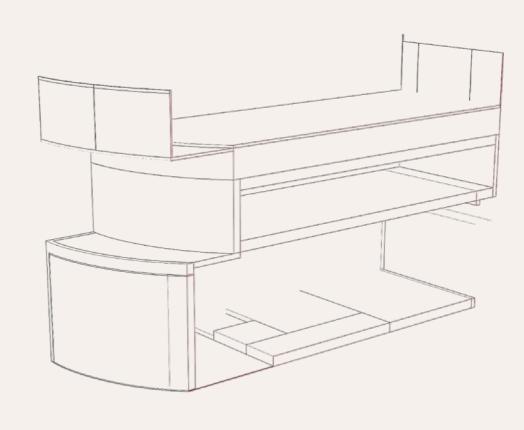
1F テナント 水回り 和室

2F LDK・バルコニー

3F SOHO 個室

4F 屋上庭園

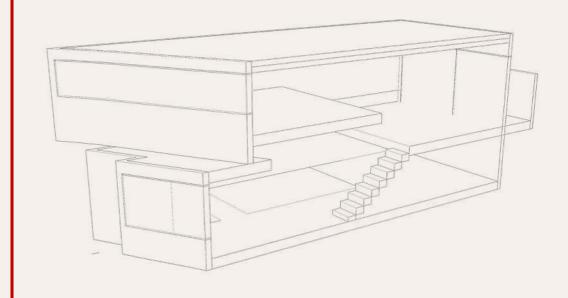
### 08-2 高齢者住宅(住戸C)



## 住戸プラン

1F 玄関 水回り テナント 和室

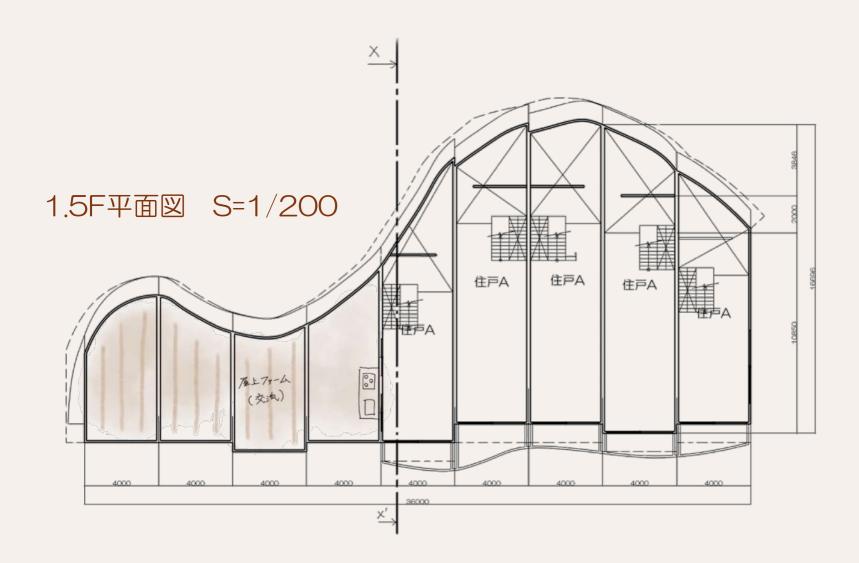
### 08-3 学生マンション (住戸C)

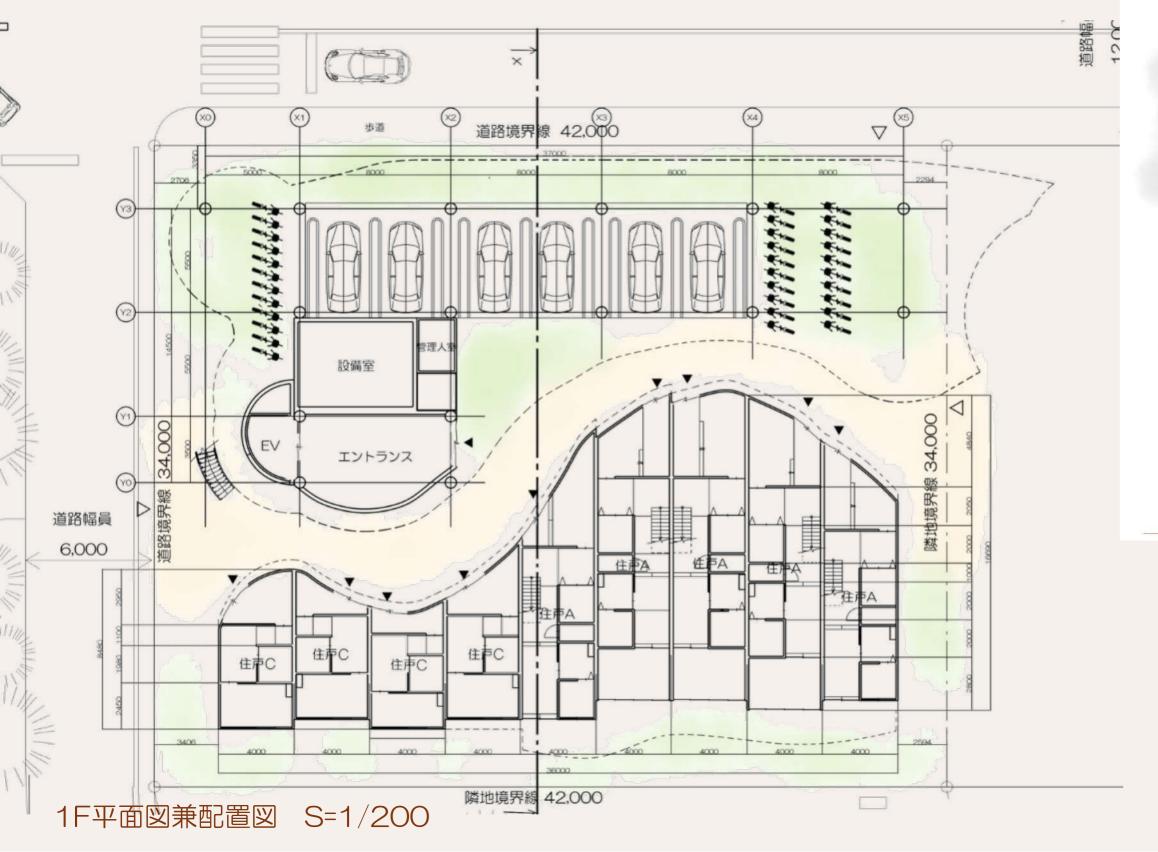


## <u>住戸プラン</u>

1F 玄関 水回り 展示スペース

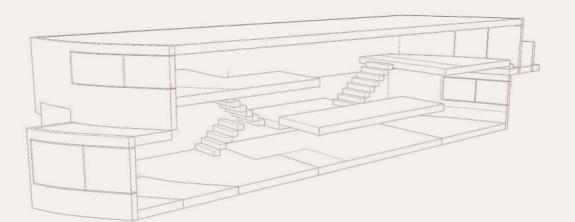
2F 個室 ロフト バルコニー





#### 08-2 学生ルームシェア (住戸B)

### 住戸プラン



- 1F 玄関 水回り 展示スペース
- 2F 個室 ロフト バルコニー

### 09 周辺敷地図

